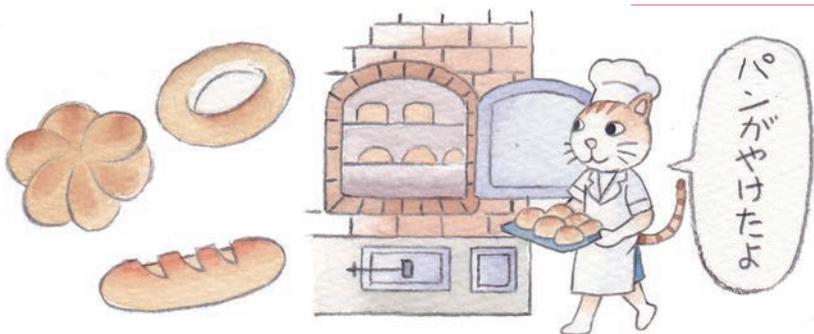


パンは世界をめぐ

パンには、こむぎこをそのまま焼いた「平^やき^{ひら}パン」とイーストで発^{はっこう}酵^{こう}させた「発^{はっこう}酵^{こう}パン」がある。どちらの種^{しゅるい}類^{れい}のパンも世^せ界^{かい}のあちこちでむかしからつく^{つく}られ、今^{いま}でも食^たべられてい^いる。二種^{にしゅるい}類^{れい}のパンを实际^{じっさい}に作^{つく}ってみよう。

ステップ
アップ

世^せ界^{かい}のパンの歴^{れきし}史^しを調^{しら}べよう。お店^{みせ}でインドのナン、メキシコ^{ちゆうごく}のトルティーヤ、中国のまんじゅうなどをさがす。



読んでみよう

『パンの絵本』

かたおかふさこ編 やまふくあけみ絵
農山漁村文化協会 2005
978-4-540-04162-4

『ぼくのぱんわたしのぱん』

神沢利子文 林明子絵 福音館書店 1981
978-4-8340-0849-4

『パンがいっぱい』

大村次郷写真・文 福音館書店 2012
978-4-8340-2757-0

『パンの大研究』

竹野豊子監修 PHP 研究所 2010 978-4-569-78050-4



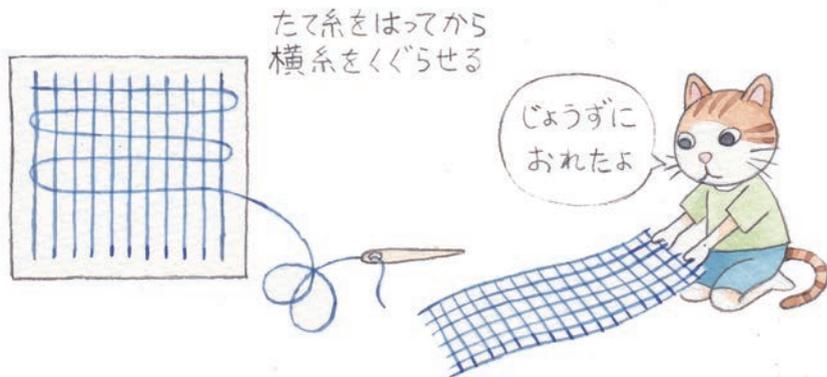
はたおりに挑戦

ちようせん

たてに糸を並べて、横糸をくぐらせて、行ったり来たり、くり返す。それで、糸がちゃんと布に織れていく。大きなしかけがなくても、ボール紙と針があれば、織り機と同じくみで、布が織れる。色と形を工夫して、織ってみよう。



織りあがった布で、コースターや敷物などを作ってみよう。



読んでみよう

『糸あそび布あそび』

田村寿美恵文 平野恵理子絵 福音館書店 2003
978-4-8340-1909-4

『へんしん糸・ひも・布』

石井正子著 なとりちづ絵 偕成社 1996
978-4-03-533110-0

『織りものごっこ』

田村寿美恵作 中村有希絵 童心社 1998

『古代の布を織ろう・染めよう』

宮内正勝監修 リブリオ出版 2003
978-4-86057-110-8



何なんでも包つつめるふろしき物

日本にほんの伝統でんとう的な入れ物いもの、ふろしきなん。何でも入はいる。おべんとうばこでも、本ほんでも、スイカでも、ビンでも。ふろしきかたのいろいろなつみ方かたをためしてみよう。ふろしきひと一つで、旅行りょこうにも行ける。



読よんでみよう

『つつんで・むすんで』

森田知都子作 森さつき絵 大日本図書 2003
978-4-477-01558-3

『風呂敷』

ふろしき研究会監修 森田知都子文 文溪堂 2008
978-4-89423-559-5

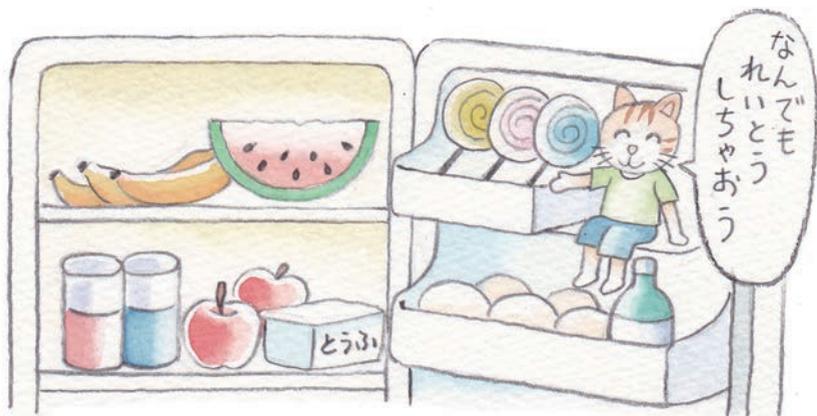
『ふろしき大研究』

宮井株式会社監修 PHP 研究所 2005
978-4-569-68572-4



アイスパーティーにびっくりにしたい

ばばあちゃんのアイスパーティのように、何でもれいとうこに入れて、こおらせてみよう。たんさんのジュース、とうふ、お茶、アメ、スイカ、イチゴ、ようかん、まんじゅう、生たまご、ソーセージ、花…。いろいろなものをこおらしたら、どうなる？ 食べたら、どんな味がする？ パーティを開いて、みんなで試してみよう。



読んでみよう

『ばばあちゃんのアイス・パーティ』

さとうわきこ作 佐々木志乃協力 福音館書店 1995

978-4-8340-1541-6

『小学生のキッチンでびっくり実験 66』

p26~35 学習研究社 2009

978-4-05-203168-7



赤あかちかゃんと遊あそぼう

家族かぞくに赤あかちかゃんがいる人、近所きんじよに赤あかちかゃんがいる人ひとは、赤あかちかゃんと遊あそんでみよう。どんなことことをしてあげると喜よろぶかな？ どんななときときに、泣なくかな？ どんなな言葉ことばがわかるかな？ 夏休なつやすみにじじっくりきつきああって、赤あかちかゃんとななかよよくきららななって、成せい長ちやうを記き録ろくしよう。

ステップ
アップ

わらべうたで遊あそんであげよう。



読よんでみよう

『あかちゃんてね』

星川ひろ子、星川治雄著 小学館 2005
978-4-09-726041-7

『あかちゃんが教室にきたよ』

星川ひろ子写真 寺田清美、鈴木良東文
岩崎書店 2006
978-4-265-00627-4

『赤あかちかゃんがわかる絵事典』

鈴木みゆき監修 PHP 研究所 2008
978-4-569-68907-4

『あかちやんとお母さんのあそびうたえほん』

小林衛己子編 大島妙子絵 のら書店 1998
978-4-931129-74-0

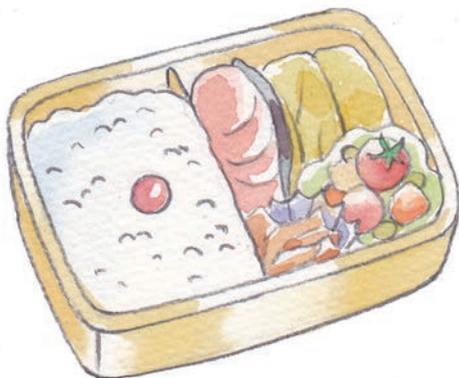
『あかちやんのごきげんがよくなる12のわらべうたえほん』

小林衛己子編 あべななえ絵 ハッピーオウル社 2006
978-4-902528-17-6



完全無欠のおべんとうをつくる

わたしたち人間に必要な栄養素は、50種類以上ある。主な栄養素は、炭水化物、脂肪、たんぱく質、無機質（カルシウム・鉄）、いろいろなビタミン、そして水だ。この栄養素が全部入ったおべんとうって、作れるだろうか？



読んでみよう

『おべんとうつくり！』

坂本廣子著 まつもときなこ絵 借成社 1993
978-4-03-428170-3

『からだの中の栄養』

足立己幸著 伊東美貴絵 大日本図書 1998
978-4-477-00896-7

『栄養がわかる絵事典』

金田雅代監修 PHP 研究所 2008
978-4-569-68759-9

『1年生からひとりでお弁当を作ろう』

坂本廣子著 竹下和男監修 共同通信社 2012 978-4-7641-0652-9

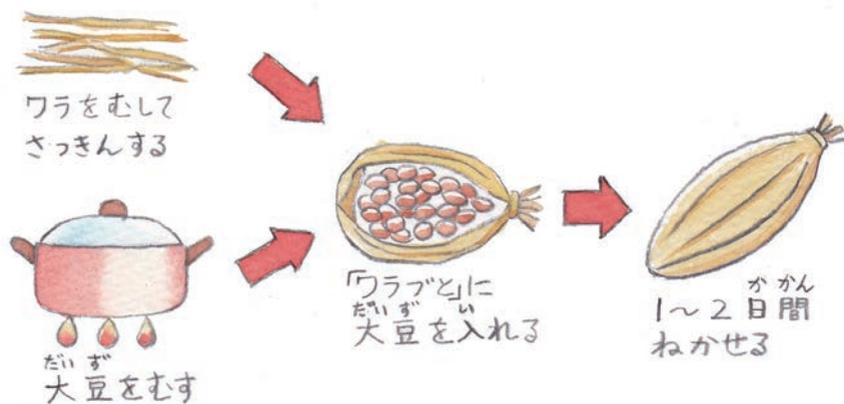
『お弁当』

坂本廣子著 まつもときなこ絵 少年写真新聞社 2011 978-4-87981-370-1



おいしい「なっとう」を作ろう

大豆が、ネバネバした「なっとう」になるのはなぜ？
大豆じゃないとネバネバにならないのかなあ。大豆からなっとうを作って、ネバネバのなぞにせまろう。



読んでみよう

『しょうたとなっとう』

星川ひろ子、星川治雄写真・文
小泉武夫原案・監修 ポプラ社 2003
978-4-591-07887-7

『なっとうの絵本』

わたなべすぎお編 さわたとしき絵
農山漁村文化協会 2004
978-4-540-03202-8

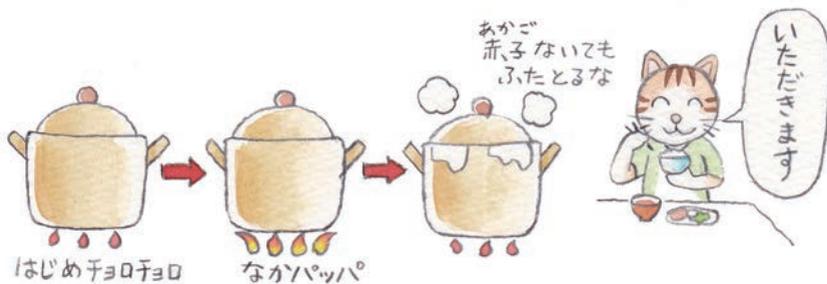


はじめちよろちよろ作戦

いま今、ごはんは、電気すいはんきで、かんたんにたけてしまう。昔は、電気ではなく、火でたいていた。今だってもちろん、火でたける。なべを使って、自分で水かげんや火の強さに気をつけて、たいてみよう。ごはんが「ブツブツ」いわなくなったら、できあがり。なべの底に、おこげができるのもおいしい。



かたい米が、やわらかいごはんになる仕組みをしらべてよう。



読んでみよう

『お米のひみつ』

小竹千香子著 永井泰子絵 さ・え・ら書房 1992
978-4-378-03864-3

『料理とワラ加工』

農文協編 赤松富仁写真 農山漁村文化協会 2002
978-4-540-01186-3

『お米をおいしく食べよう!』

保岡孝之監修 ポプラ社 2002
978-4-591-07130-4

『イネ・米』（地球を救う!植物）

津幡道夫著 大日本図書 2013 978-4-477-02652-7



布ぬのを染そめて遊あそぶ

庭にわや山やまで生はえている草くさや木きで、小ちいさな布ぬのきれを染そめてみよう。同おなじ草くさでも、にたて方かたや季き節せつによつて、色いろはかわる。タマネギや紅こう茶ちゃ、コこーヒーでも染そめることができる。白しろいTシャツやハンカチを自じ分の好じぶんきな色いろに染そめてみよう。



ふじのは



タマネギ



ブドウの皮



こんな色いろに
そまっ
た

読よんでみよう

『草木染の絵本』

やまざきかずき編 かわかみかずお絵 農山漁村文化協会
2006 978-4-540-05205-7

『草や木のまじゅつ』

山崎青樹文・絵 石曾根史行ほか写真 福音館書店 1989

『野外探検大図鑑』

p68~71 松岡達英絵 塩野米松構成・文 小学館 1993
978-4-09-213101-9

『色であそぼう』

p40~41 日本色彩研究所監修 岩井真木構成・文
岩崎書店 2007
978-4-265-04263-0



トマトを調べよう

トマトは野菜のなかで、世界一たくさん食べられている。同じトマトでも種類がたくさんある。いろいろな種類のトマトを買って、味を比べてみよう。どんな栄養があるのか、調べてみよう。食べきれなかったら、スパゲッティ用に、トマトピューレを作っておくのもいい。



世界にはどんなトマト料理があるだろう。



トマト



ミニトマト



がた型トマト



トマトは虫のきらいなおいを出さないだよ。

読んでみよう

『トマトの絵本』

もりとしひと編 ひらのえりこ絵 農山漁村文化協会 1997
978-4-540-96167-0

『ミニトマトの絵本』

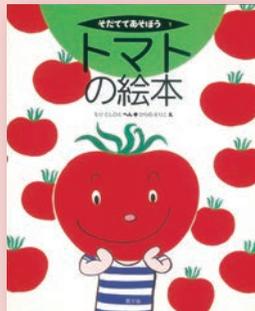
すがはらしんじ編 じんさきそうこ絵
農山漁村文化協会 2010
978-4-540-09168-1

『トマトのひみつ』

山口進文・写真 福音館書店 1998
978-4-8340-1542-3

『トマトとともに』

依田恭司郎写真 農文協編 農山漁村文化協会 2012
978-4-540-12187-6

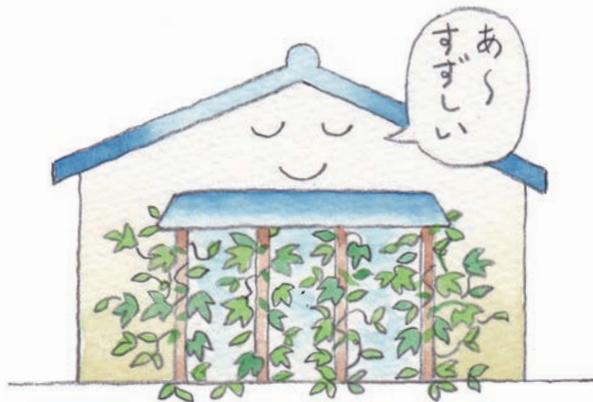


夏なつをなつすなつずなつしくなつ節電せつでん隊たい

クーラーを使つかわなくなくなても、夏なつをすずしくのりきるには、
 緑みどりのカーテンつくを作よると良よい。アサガオ、ゴーヤ、ヒョウタン、
 フウセンカズラなどツル性せいの植物しょくぶつを育そだてて、家いえをひかげに
 しよう。アサガオのようにきれいな花はなを咲さかせたり、ゴー
 ヤのように食たべられる植物しょくぶつを育そだてるのも楽たのしい。



緑みどりのカーテンのある部屋へやとない部屋へやでは、温度おんど
 にどれくらい違ちがいがあるだろう。



読よんでみよう

『ねこさんかぞくのみどりのカーテン』

津田直美作 ブロンズ新社 2009 978-4-89309-463-6

『学校で育てる緑のカーテン大百科』全3巻

菊本るり子監修 学研教育出版 2013

978-4-05-811252-6 (セット)

『みどりのカーテンをつくろう』

菊本るり子作 のぐちようこ絵 あかね書房 2012

978-4-251-09856-6

『新・子どもたちが地球を救う50の方法』

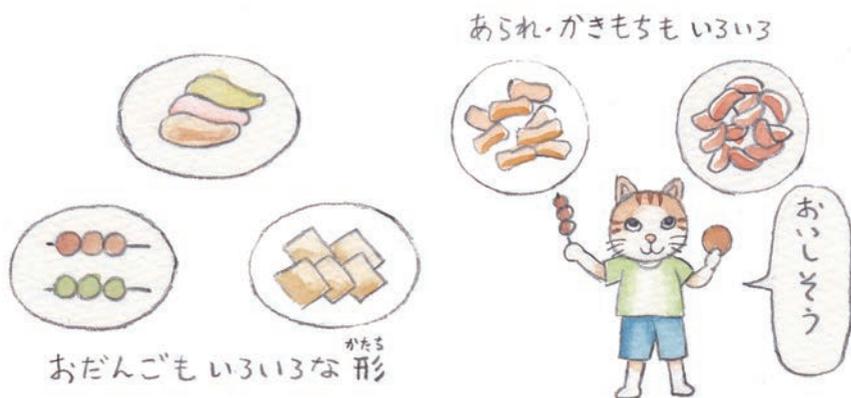
p124~127 地球を救う50の方法制作委員会著 スギヤマカナヨ絵

ブロンズ新社 2009 978-4-89309-464-3



おやつ、いま、むかし

おじいちゃんやおばあちゃんのちい小さいころのおやつって
 どんなだったか、聞いてみよう。自分たちの毎まい日のおやつ
 と比べて、どこが違ちがうかな？ どんな味？ いっしょつくに作っ
 て食べてみよう。おやつのなかには、江戸時代から今まで、
 ずっと食たべてきたものもあるよ！



読んでみよう

『ウキウキ甘辛おやつ』

奥村彪生文 野村俊夫絵 農山漁村文化協会 2006
 978-4-540-06097-7

『大江戸ファンタジー』

p18~19 沢田真理文・絵 パロディー社 2002
 978-4-938688-08-0

『和菓子の絵本』

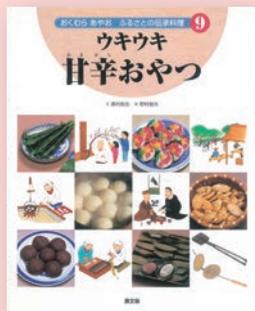
平野恵理子作 あすなる書房 2010
 978-4-7515-2538-8

『和菓子の絵事典』

依屋吉富監修 PHP 研究所 2008
 978-4-569-68795-7

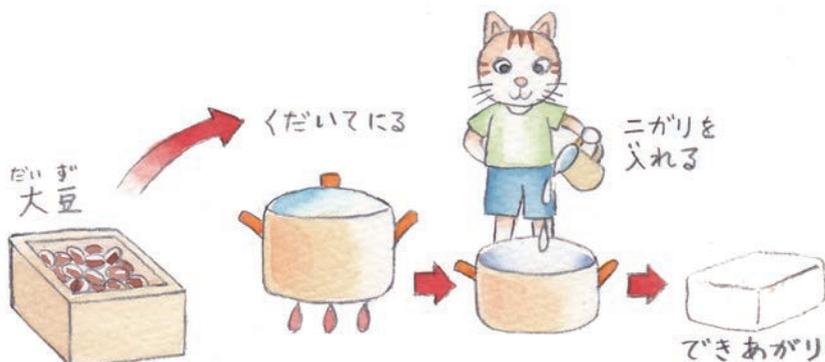
『和菓子のほん』

中山圭子文 阿部真由美絵 福音館書店 2008
 978-4-8340-2304-6



わが家はとうふざわん

とうふの材料は大豆。かたい豆から、あんなにやわらかくて白いとうふができるなんて、まほうみたい。その「まほう」のもとには「ニガリ」。大豆の汁にニガリを入れると…。さあ、作ってみよう。



読んでみよう

『とうふ』（やってみたい総合学習3）

関口シュン絵 上妻優美子監修 草土文化 2000
978-4-7945-0794-5

『とうふの絵本』

にとうひとし編 たかべせいいち絵
農山漁村文化協会 2004
978-4-540-03201-1

『とうふができるまで』

宮崎祥子構成・文 白松清之写真 岩崎書店 2013
978-4-265-08321-3

『とうふ』

小原和夫監修 鈴木出版 1994

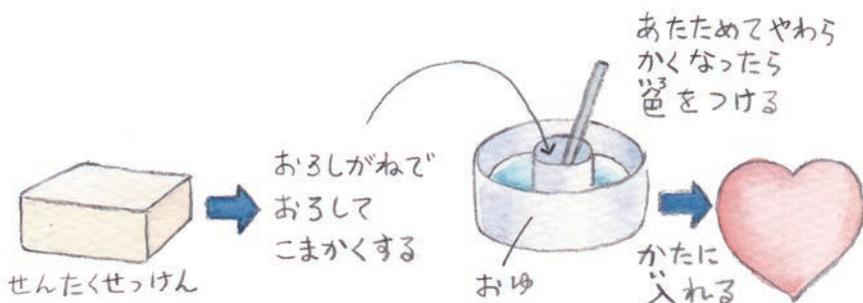


せっけん作り

お店で売っているせっけんを使って、オリジナルのせっけんを作ってみよう。かわいい形にしたり、色をつけたり、自分だけのせっけんを作ろう。



昔のせっけんは、サイカチやムクロジの実、灰やコメヌカだった。昔のせっけんを作って、よごれが落ちるか、試してみよう。



読んでみよう

『せっけん』（世界が見えてくる
身近なもののはじまり第2期5）
三木晴雄、安藤夫紀子監修 柴田智子文
PHP 研究所 2002

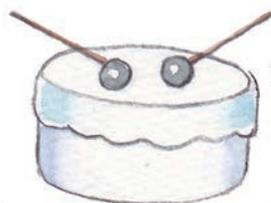


楽器を作る かなでる

身のまわりにある紙コップ、ストロー、竹、輪ゴムなど、いろいろなものを使って、楽器を作ろう。きゅうりやさつまいもをくりぬいて、笛を作ると音が出る。音が出たら、けんぱんハーモニカやピアノで音の高さを調べてみよう。もしドレミの音がそろったらすごい。すてきなえんそうができる。



ワイングラスのふちをみず^{みず}水^{ゆび}をつけた指でこするときれいな音がでる



カンのたいこ



ペットボトルのマカス

読んでみよう

『手づくりおもちゃ大図鑑』

p109~128 菅原道彦著 すずお泰樹絵 大月書店 1991
978-4-272-61022-8

『ドレミファこうさく』

築地制作所作 小峰書店 2010
978-4-338-25506-6

『リサイクル楽器を楽しもう』 全4巻

上畑美佐江作 高村忠範絵 野々下猛写真 汐文社 2002

『音遊び図鑑』

藤原義勝著 東洋館出版社 1993



どんな草も紙になる!

ぎゅうにゅう くさ みず い
牛乳パックや草に水を入れて、ミキサーにかける。どろどろになったら、「すきわく」に入れる。たいらにして、かわかすと紙ができる。材料によって、紙の色がちがう。花をすきこんだり、すかしもようをつけたり、工夫してみよう。



はがきにして、だれかに送っても喜ばれる。めいしにしてもおもしろい。



読んでみよう

『どんな草でも紙になる』

大西秀夫著 大日本図書 1996

『紙をつくろう』

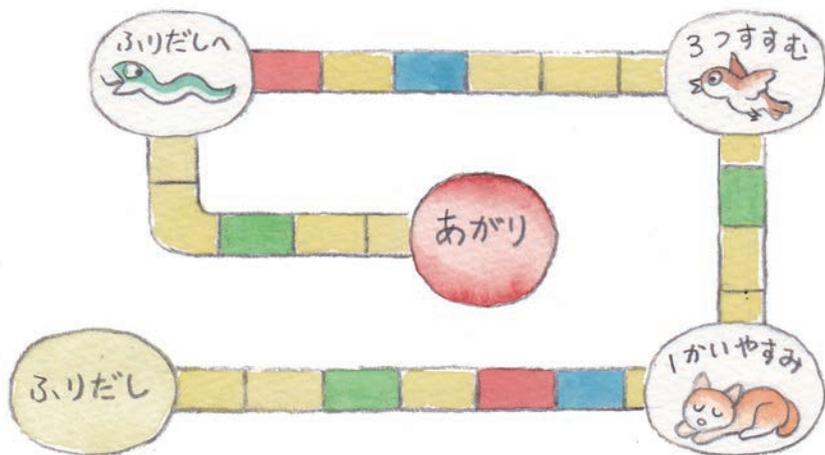
渡部國夫監修 高岡昌江構成・文 岩崎書店 2004

978-4-265-04243-2



世界に一つのすごろくを作ろう

「ふりだし」からスタート。さいころをふって、出た目の数だけ自分のコマを進め、早く「あがり」になった人が勝ち。正月などにすごろくをして遊んだ人はたくさんいるだろう。今度は、自分で作ってみよう。「電車すごろく」「恐竜すごろく」「国旗すごろく」「植物すごろく」など、自分の好きなものをテーマに、世界に一つのすごろくを作ろう。



読んでみよう

『双六』

築地双六館、翔奉庵監修 吉田修、山本正勝文
文溪堂 2004
978-4-89423-386-7

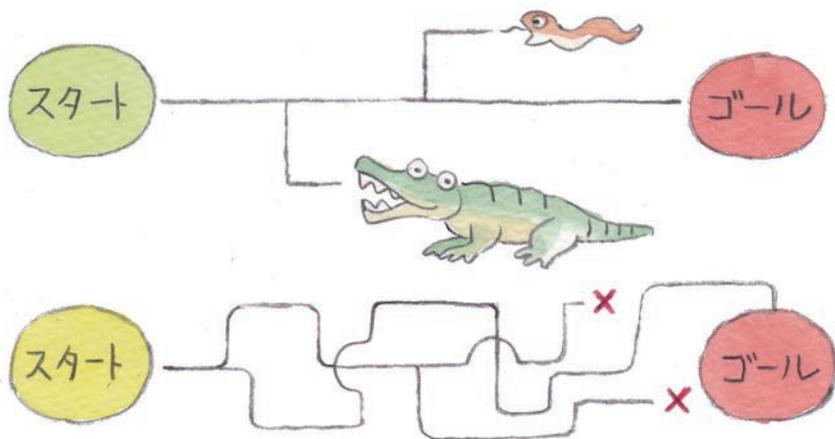
『すぐできる!よくわかる!学研キッズネットの自由研究』

p80～81 学研キッズネット編集部編 学研教育出版
2011 978-4-05-203455-8



めいろを作ろう

「めいろ」で遊ぶのは、楽しい。作ってみるともっとおもしろい。まず、紙にゴールとスタートを書いて、つないでみる。それから、分かれ道、行き止まり、立体交差、ループ、どんどんふやしていく。とちゅうで、むずかしいもんだいを出してみる。だんだん、めいろらしくなってきた。めいろの本をよく見て、書き方や工夫を研究しよう。

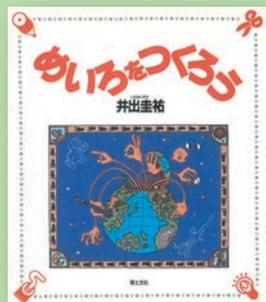


読んでみよう

『めいろをつくらう』

井出圭祐著・イラスト 草土文化 1994

いろいろな「めいろの本」

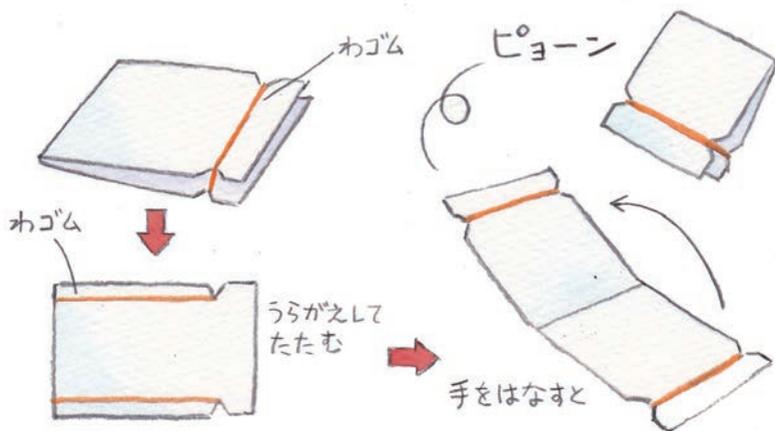


わゴムのぼろけん

あつがみ 厚紙とわゴムで「ピオン」をつくって、テーブルにのせると、ひとりでにピオンととびあがる。紙の形をかえたり、わゴムのふやしたり、いろいろくふうして、どんなピオンがたかくとぶか、比べてみる。



わゴムのちからを使って、わりばしでっぽう、車などいろいろなものをつくらう。



読んでみよう

『わゴムのふしぎ工作』

立花愛子、佐々木伸著 偕成社 2013 978-4-03-428510-7

『わごむのピオン』

大竹三郎文 荒木桜子絵 大日本図書 1979

『輪ゴムで動く』

成井俊美著 草土文化 1995 978-4-7945-0681-8

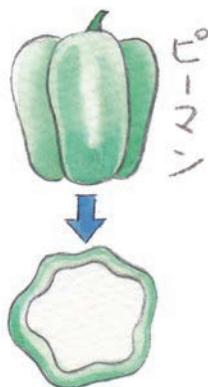
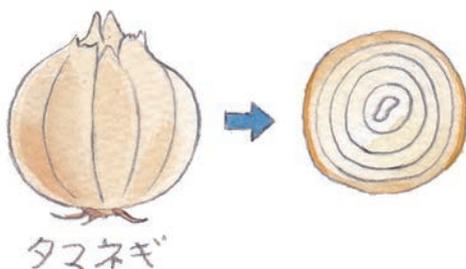
『1膳から作る割ばし輪ゴム鉄砲』

永田金司著 ナナロク社 2011 978-4-904292-14-3



野菜のおなか

トマト、キュウリ、ニンジン、キャベツ…。野菜を切ると、
 どんな形がでてくるだろう。野菜の切り口に絵の具をつけて、紙に押し、外の形とは、ぜんぜんちがったようができる。外がわと中の形を比べよう。いろいろな野菜を押し、絵をかいても楽しい。



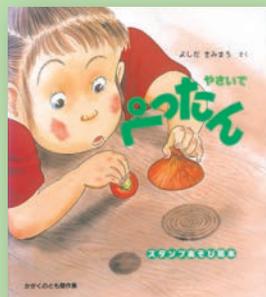
読んでみよう

『やさいでぺったん』

よしだきみまる作 福音館書店 1993
 978-4-8340-1211-8

『やさいのおなか』

きうちかつ作・絵 福音館書店 1997
 978-4-8340-1438-9



マジック・クイズ

紙^{かみ}コップ、ハンカチ、コイン、トランプ…。身のまわり
 のもの^{つか}を使って、手品^{てしな}のグッズ^{つく}を作ってみよう。何度も練^{なんど}
 習^{しゅう}して、友だち^{とも}をよんで、マジックショー^{ひら}を開くのもおも
 しろい。

ステップ
アップ

あた^あてしな^てかんが^か
 新しい手品^{てしな}を考えてみよう。



読んでみよう

『てじなでだましっこ』

佐伯俊男作 福音館書店 1991
 978-4-8340-1069-5

『つくってあそぼう! おもしろマジック』

奥田靖二監修 教育画劇 2006

『子どもに大ウケ! タネなし手品』

東京大学奇術愛好会監修 主婦の友社 2007
 978-4-07-253592-9

『手づくりおもちゃ大図鑑 続』

p81~95 菅原道彦著 大上尚之絵 大月書店 1995
 978-4-272-61067-9

『超ウケキッズマジック』全3巻

藤原邦恭著 いかだ社 2010

978-4-87051-292-4、978-4-87051-293-1、978-4-87051-294-8

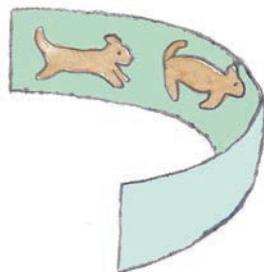


アニメーションを作る

ノートのはじに、走っているイヌの動きを連続して絵にかいて、ページのはじをぱらぱらめくると、イヌが走っているように見える。これは一番かんたんなアニメーションだ。もっと本物らしくするには、ゾートロープといわれるしかけを作ると良い。フィルムは長い紙だ。好きな話をかいて、ゾートロープで見ると、アニメーションのできあがり。



ゾートロープ



読んでみよう

『ぼくにも作れるアニメーション』

やべみつのり作・絵 童心社 1997

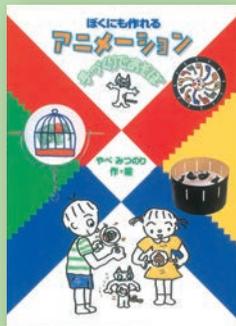
『小学生の自由研究 3・4年生』

p114~117 成美堂出版編集部編 成美堂出版 2008

『でんじろう先生のカッコいい! 科学おもちゃ』

p46~49 米村でんじろう監修 主婦と生活社 2009

978-4-391-13739-2



絵本の主人公を作ってみよう

みんなの好きな絵本の主人公を作ってみよう。ぐりとぐら、しょうぼうじどうしゃじぶた、あおい目のこねこ、ひつじのぱたぼん…。布をチクチクぬってぬいぐるみにしても良いし、ねん土で作ることもできる。



読んでみよう

『いっしょにつくろう』

高田千鶴子ほか製作 村田まり子絵 ペ・ソ写真
福音館書店 1994
978-4-8340-1246-0

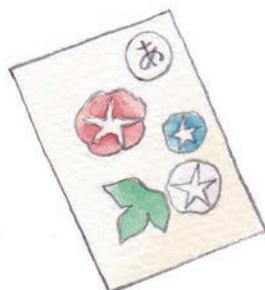
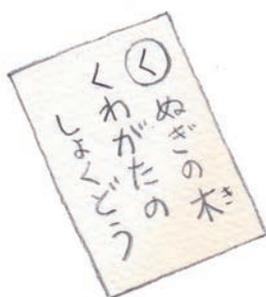
『絵本の国のぬいぐるみ』

原優子著 白泉社 2009
978-4-592-73251-8



かるたで遊ぶ

「いぬもあるけばぼうにあたる」は、昔^{むかし}からある「いろはかるた」。市^しや区^くで出^だしている郷土^{きょうど}かるたもある。「あ」から「ん」まで調子^{ちようし}のよい字札^{じふだ}を考え^{かんが}、絵札^{えふだ}も作^{つく}って、自分^{じぶん}だけのかるたを作^{つく}ってみよう。恐竜^{きょうりゆう}、サッカー、料理^{りようり}、乗り物^{もの}、なぞなぞなど、すきなテーマ^{てま}で作^{つく}るのもおもしろい。



読んでみよう

『カルタ』

大牟田市立三池カルタ記念館監修 宮本貴美子、木村浩司文
文溪堂 2006

978-4-89423-471-0

『おトギかるた』

グランまま社 2002

978-4-906195-47-3

『ぐりぐらかるた』

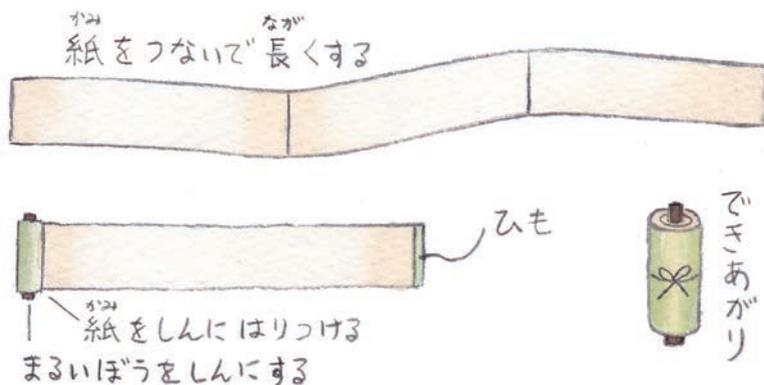
中川李枝子作 山脇百合子絵 福音館書店 1984

978-4-8340-6990-7



絵巻物のタイムスリップ

紙をつないで、長くして、くるくるまくと巻物になる。
 お話を作って、絵をかけば、絵巻物になる。巻物を道や川
 に見立てて、通る人や車、船、橋などをかいても良い。好
 きなものを次々並べてもおもしろい。巻物の形をいかすよ
 うな絵を工夫しよう。障子紙や半紙など和紙（日本の紙）
 を使うと、もっと巻物らしくなる。



読んでみよう

『海のもごうのずっともごう』

『ぞくぞくぞぞぞ』

九州国立博物館企画・原案 フレーベル館 2009、2007
 978-4-577-03674-7、978-4-577-03359-3

『工作図鑑』

p100~102 木内勝作 木内勝、田中皓也絵 福音館書店
 1988 978-4-8340-0724-4

『空とぶ鉢』

寮美千子文 長崎出版 2012 978-4-86095-491-8

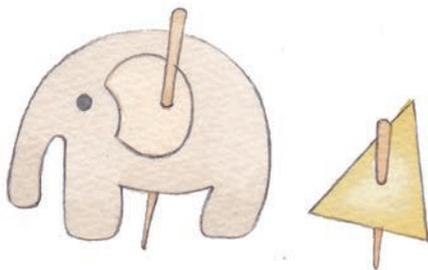
『すぐできる!よくわかる!学研キッズネットの自由研究』

p102-104 学研キッズネット編集部編 学研教育出版 2011
 978-4-05-203455-8

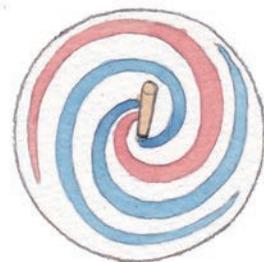


こま作り形も色も自由自在

コマは、丸い形^{まる かたち}でなければまわらないと思^{おも}っている人^{ひと}がいる。そんなことはない。コマは、四角^{しかく}でも、三角^{さんかく}でも、ゾウ^{かたち}の形^{ふね かたち}でも、船^{ふね}の形^{かたち}でもまわる。もよう^{くふう}に工夫^{くふう}をすると、まわすと色^{いろ}がかわったり、ふしぎな形^{かたち}が見えたりする。自分^{じぶん}だけのコマ^{つく}を作って、どんなふう^{けんきゆう}にまわるか、研究^{けんきゆう}しよう。



こんなコマもまわる



まわったらどんな
もようになるかな？

読んでみよう

『こままわるかな』

成井俊美作 三枝祥子絵 福音館書店 2008
978-4-8340-2387-9

『科学のふしぎ 2』

p71~74 藤田千枝監修 佐藤善江著 フレーベル館 1998

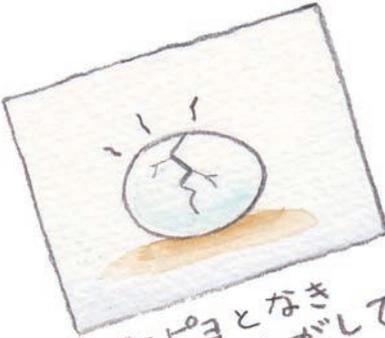
『独楽』

全日本独楽回しの会監修 安藤正樹文 文溪堂 2002
978-4-89423-314-0



紙芝居を作る

紙芝居を作ってみよう。紙芝居は、劇を作って、演じるようなものだ。自分が監督けん役者になったつもりで、ストーリーを考え、どんな絵にするか、演じ方を考えよう。図書館にある紙芝居を見ると、いろいろなアイデアがうかぶかもしれない。



ピョピョとなき
こえがして



ひなが、うまれました。

読んでみよう

『かみしばいあそび』

岡本武繁作・絵 ポプラ社 1980

『紙芝居をつくる』

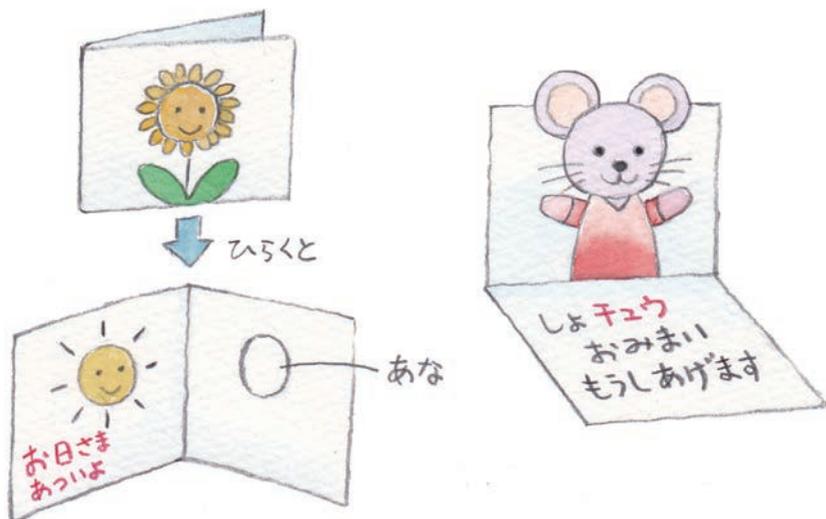
右手和子ほか著 大月書店 1990

978-4-272-61126-3



すてきなポップカード

絵が飛び出すカードや、動くカードを作って、友だちに「暑中お見舞い」の手紙を送ろう。



読んでみよう

『とびだすカード』

たしろこうじ作 ポプラ社 1985
978-4-591-01994-8

『しかけ絵本の作り方 パート1、2』

ジェーン・アービン著 加納眞士訳
大日本絵画しかけ絵本教室監修 大日本絵画 1995
978-4-499-33053-4、978-4-499-33054-1

『ポップアップ・びっくりカード』

寺西恵里子作 汐文社 2012
978-4-8113-8872-4

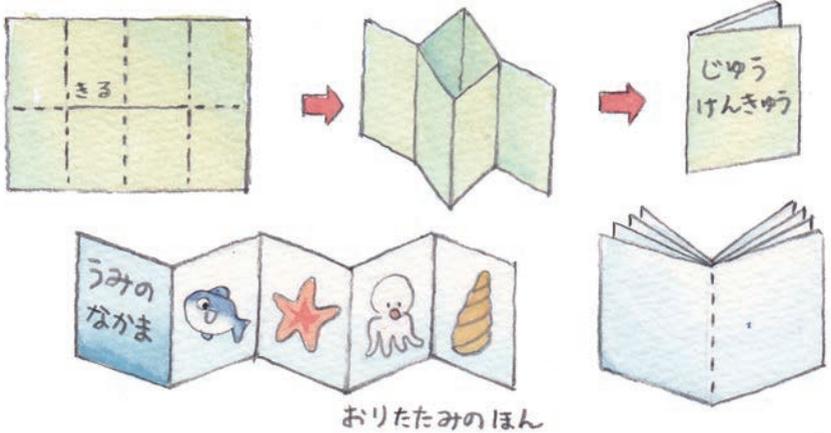


世界でいちばんの本

紙と書くものがあれば、本が作れる。紙をたばねて、ホッチキスや糸でとめれば、あつみのある本ができる。1枚の紙でも折り方を工夫すれば、本になる。長い紙を折って、折りたたみの本にしたり、しかけを作って飛び出す絵本など、おもしろい形の本も作れる。



自由研究で調べたことを本にしてみよう。



読んでみよう

『かんたん楽しい手づくり本』全3巻

水野真帆作 岩崎書店 2011～2012
978-4-265-10599-1 (セット)

『工作図鑑』

p70～71 木内勝作 木内勝、田中皓也絵
福音館書店 1988 978-4-8340-0724-4



切きつてつないでストロー細ざい工く

ストローは、^{かる}軽い。^ま曲がる。^きつながる。^{へいき}切っても平気。^{いろ}色がきれい。どこの家にもある。^{いえ}そんなストローを使つかって、^{うご}ふえやおもちゃ、^{にんぎょう}動く人形、^{いえ}家などいろいろなものを作つくってみよう。



読よんでみよう

『ストローのふしぎ工作』

立花愛子、佐々木伸著 偕成社 2013
978-4-03-428520-6

『楽しいストロー工作』

立花愛子、佐々木伸著
いまだ社 2010 978-4-87051-304-4

『ストローで調べる強いかたち』

ベルニー・ズポルフスキー著 斉藤敏訳 さ・え・ら書房
1985 978-4-378-03818-6



森もりのこうさく工作教室きょうしつ

はっぱこえだや小枝つか、つるを使って、いろいろなものができる。
 動物どうぶつ、妖精ようせい、だれかの家いえ…。森もりで集めた材料あつざいりょうをよ〜くよ〜
 く見てみよう。何かなに、思おもうかんだら、それつくを作つくってごらん。



読よんでみよう

『はっぱ』

水野政雄作 小学館 2005
978-4-09-727821-4

『木の実の恐竜たち』

中山圭子著 トンボ出版 2004
978-4-88716-149-8

『森の工作野の工作』

おくやまひさし作 偕成社 2005
978-4-03-526320-3

『作ろう草玩具』

佐藤邦昭著 築地書館 2004
978-4-8067-1294-7

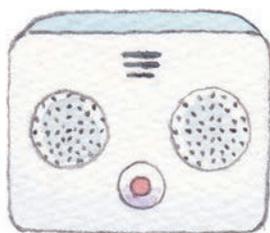
『木の実の恐竜と小動物』

自然素材工作編集部編 誠文堂新光社 2007

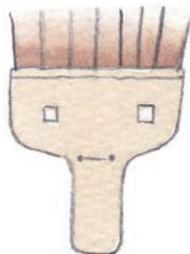


いっしょにいろいろな顔がある！

天井のしみや柱のもようが、人間や動物の顔に見えることがある。カンのフタ、車の正面、電柱、穴あき葉っぱなど、いろいろなものの中にかくれている「顔」を集めよう。写真にとって、記録するといいい。



がさいほうちぎ



ペンキのはけ



カン

読んでみよう

『ふしぎなまちのかおさがし』

阪東勲写真・文 岩崎書店 2011
978-4-265-07045-9

『まちにはいろんなかおがいて』

佐々木マキ文・写真 福音館書店 2013
978-4-8340-8017-9



大空におおぞらにタコをあげよう

身近にある材料でタコを作ることができる。スーパーのレジ袋でホネなしのタコ、折り紙を使って丸や四角いタコ。ストローを組み合わせたタコは、部屋の中でもあがる。



タコにはいろいろな種類がある。ちょっと作るのがむずかしいタコ作りにも挑戦してみよう。自分で作ったタコを大空にあげよう。



読んでみよう

『たこあがるかな』

秋山幸雄作 三枝祥子絵 福音館書店 2008
978-4-8340-2385-5

『おり紙たこ & カイトワンダーランド』

土岐幹男編著 いかだ社 2009 978-4-87051-268-9

『スーパーのレジぶくろでつくる ほねなしカイト』

蒲倉一郎発明・指導 石森愛彦文・絵 福音館書店 2002



ねん 土^ど で 作^{つく} ろ^ろ う^う

おしたり、のぼしたり、^き切ったり、くっつけたり。ねん土は自由に形をかえることができる。おもちゃ、かびん、おめん、がくぶち…。たまごのからでかざったり、色をつけたり、おもしろいものがいろいろ^{つく}作れる。

ステップ
アップ

土に水を入れて、^{つち みず い}なんども^{うわす}上澄みをとると、ねん土ができる。自分で作ったねん土で作品を作ってみよう。



読^よんでみよう

『土でつくってあそぼう』

長谷川豊・長谷川三津子作 大日本図書 1998
978-4-477-00887-5

『たまごのからとかみねんどでつくろう』

(かがくのとも 2010年6月 通巻495号)
よねもとくみこ作 福音館書店 2010

『はじめてのミニチュアクラフト』

及川久美作 学習研究社 2007 978-4-05-202839-7

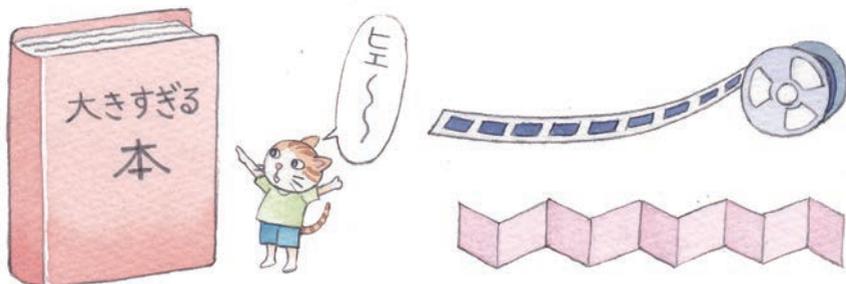
『土と石のじっけん室』

地学団体研究会編 大月書店 2004
978-4-272-40512-1



図書館のひみつ探検隊

あなたが使っている図書館のひみつをさぐろう。本々には、使う場所や並べる本によっていろいろの形や大きさがある。踏み台や本を運ぶ車にもいろいろな種類のものがある。図書館はバリアフリーになっているだろうか？ 図書館には本や雑誌、新聞、CD、DVD のほかにどんな資料があるだろうか？



読んでみよう

『本と図書館の歴史』

モーリーン・サワ文 ビル・スレイヴィン絵 宮木陽子、
小谷正子訳 西村書店 2010
978-4-89013-923-1

『図書館』（まちの施設たんけん 2）

田村俊作監修 林義人文 菊池東太写真 小峰書店 2004
978-4-338-19802-8

『図書館のすべてがわかる本』全4巻

秋田喜代美監修 こどもくらぶ編 岩崎書店 2012~2013
978-4-265-10660-8（セット）



都立図書館こどもページ

「としょかんのひみつ」

<http://www.library.metro.tokyo.jp/secret/tabid/2558/Default.aspx>